

学校お助け隊通信

第3号

先生たちに“ちょっとほっとする”支援を届けます

発行 国際心理科学研究所
令和7年6月

特集 補足編「“3つの視点”をつなぐことで、不登校支援は組織の力になる」

前号では、不登校防止に向けた「3つの視点」——

- ① 子どもたちの“つまづき”を見逃さない現状把握
- ② 学校を「安心していられる場所」にする環境づくり
- ③ 保護者・教員との連携強化

——をご紹介しました。

今号では、これらの視点を“つなぐ”ことで生まれる効果や、支援をより実効性のあるものにするためのポイントについて、補足的にお伝えします。

これら3つの視点は、いずれか一つだけに注力しても、十分な成果を上げるのは難しいものです。

たとえば、現状把握ができていても、学校が安心できる場所でなければ、子どもは本音を見せません。また、保護者や教員との連携がなければ、継続的な支援が途切れやすくなります。

逆に、これらが有機的に連動していくことで、学校内に

「早期発見」

「早期対応」

「協働的な支援体制」

という循環が生まれます。



ここにこそ、学校という組織の力を引き出す鍵があります。

「学校お助け隊」は、これらの視点を“つなぐ”伴走者として、現場の先生方の気づきや実践を支える存在でありたいと考えています。



お知らせ

人気上昇中！校内研修にプラスワン：

「ロールプレイ型ケース会議」

■目的：「多角的視点からの気づき」と「支援力の底上げ」

■不登校傾向の児童、気になる行動を繰り返す生徒、保護者との関係が難しいケースなどをテーマにした実践型研修が注目されています。

■外部ファシリテーターが入ることで、安心して本音を出し合える雰囲気！！

ファシリテーターのご依頼・ご相談は、下記までお気軽にお問い合わせください。

コラム 心理の窓 「梅雨どきのセルフケア小話」

「雨のあとは、空がいちばんきれいになる」

梅雨時は、天気だけでなく、気持ちや体調にも影響が出やすい季節です。この時期は自分に「がんばらなくてもいい日」をつくることも、実は大切なケアのひとつです。

☕ 雨の日は「ゆっくりお茶を淹れる日」

📖 静かな雨音の中で「自分をいたわる言葉を思い出す」

🌈 「やまない雨はない」という気持ちで、今をやさしく乗り切るほんの小さな工夫でも、心はすっと軽くなります。どうか、ご自身にも「晴れ間のごほうび」を。

「子どもに寄り添い、先生を支え、未来を育てる。」

～心理・福祉・教育の専門力で、すべての子どもが心豊かに育つ環境を～



成長×支援を届ける会社
株式会社 国際心理科学研究所

